

地域における 車椅子バスケットボールを考える inドイツ

【目的】

2014年に当法人で行った研修、「障害者スポーツとしての車椅子バスケットボールについて考えようinドイツ」にて、ドイツでは障害の有無に関わらず、スポーツが人々の身近にあることを学びました。

日本でも東京2020パラリンピック競技大会に向けて、障害者スポーツの認知は広まっていますが、実際に地域で継続した活動ができる環境（活動する場所やサポートするスタッフなど）というのはまだまだ少ないのが現状です。

今回の研修では特にスタッフや場所などの環境面に焦点をあて、ドイツでは地域でのスポーツ活動を継続するために、どのような考え方や仕組みがあるのかを学びます。そして、私たち各々が現在携わっている地域での障害者スポーツ活動を継続できる方法を考えます。

【研修スケジュール】

- ① 事前研修:8月下旬
- ② ドイツ現地研修:9月20日(水)～24日(日) 3泊5日
- ③ 事後研修:11～12月中

	名称 (場所)	日程	内容
①	事前研修 (東京都内)	8月19日(土)、20日(日)、 26日(土)、27日(日)の どこか1日4～5時間程度を 予定	充実した現地研修を行うために、事前にドイツの障害者スポーツや車椅子バスケットについて学ぶ。 ▼参加者によるプレゼンテーション ▼講義1『ドイツにおける障害者スポーツについて』 一般社団法人コ・イノベーション研究所代表理事 橋本大佑様より ▼講義2『ドイツにおける車椅子バスケットについて』 Jキャンプスタッフ 愛知より
②	ドイツ 現地研修 (フランクフルト、ケルン等)	9月20日(水)～24日(日)の 3泊5日	ドイツでは地域でスポーツ活動を行うためにどのような仕組み、環境があるのかを学ぶ。 ▼キックオフトーナメント(ケルン車椅子バスケットボールクラブ主催の国際大会)見学 ▼子どもやジュニア世代を対象とした車椅子スポーツ教室の見学 ▼マンフレッドザウアー基金(障がいのある方のための複合型施設)見学 ▼各団体の関係者へのインタビュー ▼その他、参加者の希望に合わせた内容を検討する予定
③	事後研修 (東京都内)	11～12月中	現地研修で見学・体験したことを踏まえ、今後の各々の活動における行動目標を明確にする。 ▼参加者発表 ▼ディスカッション等 ※事後課題:所属団体関係者への伝達講習、またそれを踏まえたレポート提出

【参加募集要項】

地域での障害者スポーツ活動に携わっている方や車椅子バスケットボールクラブチームのスタッフ等、現在何かしらの活動に関わっている方を対象とします。
活動を継続することや、発展した活動をするを旨せらるよう、実体的な研修にしたいと考えています。そのため、参加者選考を設けます。

〈定員〉 8名程度

〈参加者負担金〉 実費総額約30万円のところ、皆様からは負担金として約20万円を頂く予定です(分割支払い可)。

☆希望する方若干名に対し、**本研修にかかる負担金の半額程度をJキャンプより補助**します。

※負担金補助希望者が多数の場合は、下記提出書類を参考にして選考を行います。必要に応じて別途面接等を行わせていただく可能性があります。

※負担金補助有の参加者は、

・①事前研修 ②ドイツ現地研修 ③事後研修 ①～③すべてへの参加

・①事前研修時のプレゼンテーション実施

を条件とします。

その他参加者は、

・①事前研修時のプレゼンテーションは任意(参加は必須)

・③事後研修は自由参加

とします。

※①事前研修への参加が難しい方はご相談ください。

〈提出書類〉

1) 申込書

2) 自身が携わっている活動に関する報告書(400～800字程度) ※写真や図等の添付可
…具体的な活動内容、自身の役割、現状の問題点、等

3) 参加動機(400～800字程度)

…参加することで何を達成したいか、どのような点に興味があるか、等

上記書類を申込み期限までに、下記のメールアドレスへ送付または下記住所まで郵送ください。

〈申込み期限〉

2017年6月23日(金)17時必着

【申込み先・お問い合わせ先】

特定非営利活動法人Jキャンプ 担当:愛知裕子

郵送の場合:〒272-0143 千葉県市川市相之川2-10-3-501

メールの場合:jcamp_kenshu@hotmail.com (Jキャンプ研修専用アドレス)